

桔梗が丘自治連合協議会の 6部会6プロジェクトが活動を披露



ワークショップで討議する事業スタッフ

桔梗が丘自治連合協議会の活動を住民に理解してもらおうと、同協議会の企画委員会が中心となって準備した「27年度桔梗が丘地域フェア」が、昨年11月29日に桔梗が丘公民館で開催された。

平成15年にまちづくり委員会が発足し同21年に自治連合協議会を組織、25年には「ほつとまち構想に基づくプロジェクト」をスタートさせた。6部会と6プロジェクトが「『ほつとまち』桔梗が丘」の発展に向かっての活動を続いている。

フエスタの第1部は、健康推

27年度桔梗が丘地域フェア

まきより 通信

2016年1月(平成28年)

発行 桔梗が丘自治連合協議会
連絡先 桔梗が丘公民館内
TEL 65-1206
FAX 65-1206
E-mail kikyou-ko@emachi-nabari.jp
5,670世帯・13,895人
(2015年12月1日現在)

会の活動と子どもたちと地域の絆づくり、ふれあい茶房、住居表示設置、みどり環境整備、農樂園、お助けセンターの6プロジェクト事業のおのとの写真で紹介した。係が活動に参加していない人や他のグループの人の質問に応えていた。

2部のワークショップでは、グループ別に用意されたテーブルで「活動での悩み」をカードに書きとり模造紙に貼る作業をした。次にリーダーは残り他の人は別のテーブルに移動して「そのテーブルの悩みの解決案、そのテーブルでして欲しいこと」について討議して提案をした。

悩みでは、ほとんどがスタッ

フの人数不足と高齢化を訴え

ている。若い人と女性の参加も

希望している。このままでは活

動の維持が心配だとの声も

あつた。一方、季節に合った行

事やアウトドアの健康講座、他

のチームと合同での行事もと

積極的な意見もあつた。主催者

は今日の提案を改善の資料に

したいと話している。

進、住民交流、教育文化、生活安全、快適環境、地域福祉、生活安

居表示設置、みどり環境整備、

農樂園、お助けセンターの6プ

ロジェクト事業の写真で紹

介した。係が活動に参加してい

ない人や他のグループの人の

質問に応えていた。

2部のワークショップでは、グ

ループ別に用意されたテーブル

で「活動での悩み」をカードに書

きとり模造紙に貼る作業をし

た。次にリーダーは残り他の人

は別のテーブルに移動して「そ

のテーブルの悩みの解決案、そ

のテーブルでして欲しいこと」

について討議して提案をした。

悩みでは、ほとんどがスタッ

フの人数不足と高齢化を訴え

ている。若い人と女性の参加も

希望している。このままでは活

動の維持が心配だとの声も

あつた。一方、季節に合った行

事やアウトドアの健康講座、他

のチームと合同での行事もと

積極的な意見もあつた。主催者

は今日の提案を改善の資料に

したいと話している。

桔梗丘高校跡地活用 33年の国体会場に

12月定例議会一般質問で

けに、跡地利用も同じなのかと懸念し市の動向を注視している。

昨年の12月定例名張市議会で、永岡禎議員(無所属)が一般質問で取り上げた。同議員は、

跡地活用について住民は、どうなるのかと心配している。廃校の決定をメディアの報道で初めて知った苦い経験が有るだ

けで、永岡禎議員(無所属)が一般質問で取り上げた。同議員は、

交通の利便性や住宅地内の立

地など、教育環境が整っている

桔梗丘高校の廃校を決定しながら、跡地活用について全く議

会に示されていない。地域の住民も心配している。県下で有数

のグラウンドや校舎などの施設を、どうするのかとの質問を

した。

亀井市長は、桔梗丘高校の跡

地利用について県は、市と地域

住民が合意した活用案なら検討すると言つてはいる。平成33年

の三重国体で名張市は軟式野

球、弓道、綱引き、ホッケーの競

技場を担当する。桔梗丘高校跡

地を、教育施設としての活用と併せて競技会場としても視野に入れている。来年3月に県に知らせる意向と答弁した。



県下有数の設備・桔梗丘高校

平成二十八年度 年頭のご挨拶

桔梗が丘自治連合協議会
会長
辻森保藏

く新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃、皆さんには各自治会(区)・そして各部会・委員会の事業にご協力いただきお礼申しあげます。

また、平成二十五年からスタートしました「桔梗が丘

プロジェクト事業を多くの皆さんには、つつがな

ございます。

新年明けましておめでとうございます。

地域の皆さまには、つづがな

ございます。

ごぞいます。

